



## よくあるご質問

### <グリーンアートコンペティション>

#### Q 1. グリーンアートの作品展示会場は？

A. 神戸ハーバーランド「umie」のセンター・ストリート（アトリウム内）を予定しています。

#### Q 2. 作品の大きさは？耐久性は？

A. 今回、作品の大きさの制限はありませんが、主催者の指定するスペースの範囲内とします。

展示会場が大規模商業施設のメイン通路の一角であるため、子供連れの家族が多数来場されますので、安全確保については十分な配慮をお願いします。また、通行者の妨げにならないよう通路を確保してください。

鑑賞者が作品に触れたり、操作したりする作品はそれに耐えられるようにしてください。

周辺店舗の視界を遮る作品の設置は控えてください。

#### Q 3. 会場は屋内とのことだが、屋内環境は？

A. 展示会場は乾燥しますので、作品の持続性には十分配慮してください。

作品の耐久性不足による展示不能または時間の経過による植物の変化（枯れた場合等）があった場合、出展者の負担でメンテナンスにお越しいただくことになります。

※会場は商業施設という性格上、展示作品の外観（破損、枯れ等）に大変気を使っていますので、ご理解ください。

#### Q 4. 「生きた植物」とはどこまで「生きている」と判断したら良いか。

A. 短期間しかもたない「切り花」や「ブリザードフラワー」等は「生きた植物」とは言えません。多肉植物・寄生植物を含めて、2ヶ月の会期の間維持できるものであれば「生きた植物」として結構です。

#### Q 5. 植物を育てる上で水が必要だが、水の使用は制限があるか。

A. 水は使用できますが、下から漏れないよう防水措置を徹底していただきます。

#### Q 6. 日常の植物への水やりは？

A. 会期中の作品への日常の水やりについては、出展者の希望があれば、植物の知識のない人でも簡単に行える程度のことは主催者が行いますが、作品の状態、植物の種類、土の乾き具合などを考慮したり、肥料をやったり、極端に時間を要したり、危険を伴うようなことはできません。また、出展者の希望により主催者が給水等を行い、作品に影響が出た場合、主催者は責任を負いません。

#### Q 7. 作品の使用材料の制限はあるのか？

A. 展示会場は火気・危険物は厳禁です。また、可燃物の設置はできません。可燃物の作品素材には不燃、防火処理を施してください（根付きの生きた植物は除く）。

**Q 8. 作品設置の床面は耐水性があるのか？**

A. 作品設置にあたって、展示スペース内は耐水性がありませんので、床面等に適切な養生、漏水対策を行い、汚損防止をしてください。

**Q 9. 作品の荷重制限はあるのか？**

A. 床養生を含めて、300kg/m<sup>2</sup>の荷重制限があります。鉄板などで荷重を分散させることはできません。

**Q10. 作品の設置作業の時間制限はあるのか？**

A. 設置にあたっての作業時間は、通路養生の時間を含めて、深夜・早朝です。詳細は、今後建物管理者と調整の上、決定します。

**Q11. 作品の設置作業にあたって電気溶接機の使用はできるのか？**

A. 作品設置にあたって、展示会場内は電気溶接機等の火気使用はできません。溶接等、火気を使用する作業は展示会場搬入前に行ってください。

**Q12. 作品の設置作業にあたって展示会場内に車両等の乗り入れは可能か？**

A. 2 tトラックまたはクレーン車で西出入口（幅：約4 m、高さ：約4 m）から、搬出入が可能です。なお、フォークリフトの乗り入れはできません。会場内には駐車できませんので、車両は荷卸し後近隣の駐車場に駐車してください。

**Q13. 作品を固定するため、床面に穴開け、くぎ打ちはできるのか？また、塗装はできるのか？**

A. 作品設置にあたって、床面に穴開け、釘打ちはできません。また、塗装もできません。

**Q14. 電源の容量はどの程度か？配線は主催者がしてくれるのか？毎日の電源の入り切りは？**

A. 展示作品で使える電源は100V・15A・1回路を主催者で用意しますが、電気配線、照明器具等の取付けは出展者で行ってください。これ以上の電源が必要な場合は事前に主催者との協議が必要です。簡単な電源の入り切りは主催者が行いますが、緊急時を除き、機器の操作や作業は、主催者はいませんので作品制作の際注意してください。

**Q15. 展示中の事故（作品の盗難、損傷や鑑賞者のケガ等）については、主催者が責任を負ってくれるのか？**

A. 作品の展示や取扱いに関しては最善の注意を払いますが、作品の盗難、損傷や作品の瑕疵による事故については、展示者の責任で傷害保険等に参加してください。

**Q16. その他、注意する点は？**

- ・企画書の「作品コンセプト」はできる限り簡潔に分かり易く説明してください。
- ・審査員に作品意図が伝わるよう、提出する企画書等の書面上のみで、作品が具体的にイメージできるように表現してください。

- ・作品の耐久性不足による故障等には、出展者の負担で必ず補修に来ていただきます。体験型の作品については、十分に耐えるようにしてください。
- ・作品管理・会期終了後の作品撤去・現状復旧については出展者自らが責任をもって行っていただきます。

**Q17. 複数のコンペティションに応募することは可能か。**

A. 可能です。過去にも複数のコンペティションに入賞された方もいらっしゃいます。ただし、複数入賞した場合には制作可能か十分に検討してください。